

【平成25年度三重県農村青少年プロジェクト発表会開催】

1月9日（木）に、三重県農村青少年クラブ連絡協議会の主催により、県農業大学校を会場に「平成25年度三重県農村青少年プロジェクト発表会」が開催されました。発表会には、クラブ員16名、関係者12名が集まりました。

プロジェクト発表は、クラブ員自らが創意工夫した研究活動に基づき、取組内容や成果、今後の展望などを発表する場です。発表は、伊勢志摩地区の牧谷さん、伊賀地区の平木さん、紀州地区の宇口さんが行いました。今回の発表にかかる活動は、地区単位でテーマを決め、クラブ員の総力を結集して取り組んだものです。伊勢志摩地区では、クラブ員を増やすことをテーマに、新規クラブ員獲得のための様々な工夫を実施しました。伊賀地区では、クラブ員皆がそろってできる活動をテーマに、3カ年にわたって「田んぼアート」の取組を実施しました。紀州地区では、魅力的な売り方をテーマに、POP研修とその実践活動を行いました。

発表会の後には、伊勢志摩地区のイチゴ農家である倉野さんに講演をしていただきました。倉野さんは、大学卒業後に様々な壁にぶつかりながら農業に出合い、「イチゴを通じて笑顔を広げたい」との思いでイチゴ栽培を始めました。講演では「夢に向かってチャレンジすることの大切さ」を熱い想いを込めて訴えかけました。

各地区の創意工夫をこらした意欲的な活動内容に、その後の審査は難航しました。その結果、地域との連携まで活動対象を広げた伊賀地区の取組が「知事賞」を獲得し、経営改善につながる実践的な取組として評価が高かった紀州地区の取組が「三重県農林水産支援センター理事長賞」に選出されました。知事賞を受賞した伊賀地区の取組については、2月6日に名古屋市で開催される「東海ブロック農村青少年会議」において、三重県代表として発表していただきます。今回の発表内容をさらにブラッシュアップして、全国大会への出場権を獲得することを期待しています！



（牧谷さんの発表）

（平木さんの発表）

（宇口さんの発表）

（倉野さんの講演）